

「角館町」の特産品として代表的な「樺細工」は桜の樹皮を使用した伝統的工芸品であり、230年以上の歴史がある。桜の樹皮に独特の技術と繊細な加工を施すことで光沢を生みだし、茶筒や食器などの実用品から装飾品に至るまで、多種・多様な商品が製造・販売されている。最近では、携帯情報端末の普及に伴い、スマートフォンに対応したカバーケースなども販売されている。

● 樺細工八柳下中町店

角館町で樺細工製造・卸しを主としている株式会社八柳の関連事業所として小売部門を担当する樺細工販売店。角館町は、桧木内川堤の桜や武家屋敷の城下町としての町並みなどの観光資源を有することから、首都圏での知名度も高く県外から観光に訪れるお客様も多い。

販売商品は、樺細工の実用品、装飾品など、多様な商品を取り扱うとともに、当店舗でしか入手できない、オリジナル商品の販売にも力を入れている。

店舗は、角館駅から武家屋敷をつなぐルートからわずかに離れているものの、「角館町ふるさと景観賞」を受賞した建造物であることから、古き時代の生活空間、歴史を感じさせる外観や内部の土間や蔵、座敷は昔のままに保存されている。



樺細工体験サービスを通じた新たな顧客層の開拓

これまで有効に活用されていなかった建物内部の特徴を活かすとともに、新たなサービスに取り組むため、経営計画を作成した。体験型の観光を求めるお客様にご来店いただくための仕組みづくりやオフシーズンでもご来店いただける魅力のあるサービスを開発することとした。



樺細工・伝統工芸の魅力の発信、新たな顧客層の開拓

今回の補助事業を活用し、「樺細工体験教室」の実施などを宣伝するリーフレットを作成。近隣宿泊施設に置かせていただいたところ、お客様のご紹介をいただき、体験サービスの実施につながった。これまではお買い物を目的としたお客様のご来店が中心だったが、本サービスの実施により、県内外・地元、親子・若者・グループなど、幅広い年齢層のお客様のご来店が期待できる。今後も継続して、樺細工・伝統工芸とともに、角館町の魅力を全国にPRしていく。

樺細工体験教室では、樺細工の皮を削り、ストラップやコースターなどに張り付けて完成させるまでの作業工程を体験する。



体験教室で製作した＜樺ストラップ＞

建物全体で樺細工の歴史を醸し出す空間づくり

店舗の入り口正面に、店名と屋号・家紋を入れた提灯を設置。特に夜間は華やかさと歴史を感じさせる風情を演出することができた。



昔の職人さんが製作した樺細工商品の他、骨董品などを展示。「ミニギャラリー」としてもお楽しみいただくことができます。

樺細工体験教室などを宣伝するリーフレット

活用した補助金の内訳

- リーフレット作成（広報費）
- 樺細工体験用工具等（機械装置費）
- 提灯製作等（外注費）

補助事業の取り組みを終えて

樺細工八柳下中町店
代表 八柳浩太郎氏

今回の補助事業を通じて、樺細工体験に必要な道具が揃い、円滑な教室運営が可能になりました。

また、樺細工体験教室の実施を通じて、お客様との間に、商品販売とは異なる「接点機会」を得ることができ、今後は体験教室でのお客様との会話から生まれる商品ニーズを収集し、事業展開に反映していきたいと思います。また、宿泊施設や旅行会社との連携にも力を入れ、体験サービスの企画内容の充実にも取り組みたいと考えています。



左：八柳浩太郎氏 右：水戸指導員

担当指導員の声
(仙北市商工会 水戸幸正)

店舗・建物全体が観光に「物語」を求めるお客様のニーズを収集・把握しながら、より充実した体験サービスに育てて欲しいと思います。本事業の実施で新規顧客層の開拓に向けた足掛かりとなりました。今後も継続した支援を行います。